

令和5年度 オホーツク海外海放流ホタテガイ貝柱歩留不良予報 (早期予報試行版) *

概況

4月の4つの観測値のうち、最大平均貝柱歩留を除いた3項目は良好で、貝柱歩留不良の発生確率は短期(6~7月)では低く、長期(6~10月)ではかなり低いと予想されます。

海域：オホーツク総合振興局管内海域

レベル：I

予報期間：令和5年(2023年)6~7月(短期)

発生確率：0.071~0.125

予報期間：令和5年(2023年)6~10月(長期)

発生確率：0.000~0.063

警戒レベル	意味
I	発生確率が短期では低く、長期ではかなり低い
II	発生確率がやや高く、注意が必要
III	発生確率が高く、警戒が必要

注：貝柱歩留不良予報は、4月の4つの観測値、最大平均貝柱歩留、最大貝柱グリコーゲン濃度、最大クロロフィル濃度、最大海水温差(最高水温-最低水温)から、6、7月の短期と、6~10月の長期の貝柱歩留不良を統計的確率モデルで予測しています。

* この予報は、北海道ほたて漁業振興協会からの受託研究「ホタテガイ成長モニタリング調査」結果によるものです。